

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成28年10月27日 (2016.10.27)

【公開番号】特開2015-56372(P2015-56372A)

【公開日】平成27年3月23日 (2015.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-019

【出願番号】特願2013-190933(P2013-190933)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/15 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/12 E

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/12 B

H 0 5 B 33/22 Z

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 F 1/15

G 0 9 F 9/30 3 8 0

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月7日 (2016.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数画素が形成されて画像を表示する表示領域を有する表示装置であって、

前記複数画素のそれぞれは、

走査信号線と、

発光により当該画素の輝度を制御する、第 1 トランジスタを有する輝度制御部と、

前記輝度制御部からの発光を透過する透過波長帯域を制御することにより、当該画素における発光色を制御する、第 2 トランジスタを有する発光色制御部と、を有し、

前記第 1 トランジスタ及び前記第 2 トランジスタは、前記走査信号線と電氣的に接続され、

前記複数画素の前記発光色制御部には、前記透過波長帯域を制御して当該画素における発光色を制御する発光色制御信号が入力される、

ことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された表示装置であって、

前記発光色制御信号を出力する発光色制御信号出力部は、前記表示領域内の複数画素で個別に入力される前記発光色制御信号、あるいは、前記表示領域を区分した区分領域内の

複数画素で共通して入力される前記発光色制御信号を出力する、
ことを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載された表示装置であって、
前記発光色制御部は、有機エレクトロクロミック層を含んで構成される、
ことを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載された表示装置であって、
前記有機エレクトロクロミック層は、第 1 電極層と第 2 電極層に挟持されて、前記第 1 電極層と前記第 2 電極層の間に印加される信号によって透過波長帯域が制御され、
前記第 2 電極層は、前記表示領域内の複数画素に共通となるように形成され、
前記第 1 電極層は、前記表示領域における 1 又は複数の行毎、あるいは、1 又は複数の列毎に共通となるように形成される、
ことを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載された表示装置であって、
前記第 1 電極層は、前記表示領域の外側に延在するように形成されて、前記表示領域の外側にて形成されるコンタクトホールを介して、前記発光色制御信号を伝達する信号線と接続する、
ことを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載された表示装置であって、
前記輝度制御部は、有機エレクトロルミネッセンスによって発光する有機 EL 層を含んで構成され、
前記有機 EL 層は、前記第 2 電極層を基準として前記第 1 電極層が形成される側とは反対側に形成される第 3 電極層と、前記第 2 電極層との間に挟持されて、前記第 2 電極層と前記第 3 電極層の間に印加される信号によって当該画素における輝度が制御される、
ことを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

請求項 4 に記載された表示装置であって、
前記第 1 電極は、前記第 2 電極よりも上層に設けられ、前記第 2 電極に設けられた開口を通じて、前記第 2 トランジスタと電氣的に接続される、
ことを特徴とする表示装置。